

資料編

原田 知佳

目 次

図 1	デザインの枠組み (index.php)	・・・ 1
図 2	ログインページ	・・・ 1
図 3	ログアウト画面	・・・ 2
図 4	ログイン後のヘッダー部分 (先生用)	・・・ 2
図 5	問題一覧ページ	・・・ 2
図 6	不正に問題ページにアクセスした時	・・・ 3
図 7	問題内容	・・・ 3
図 8	問題ページの背景画像	・・・ 4
図 9	正誤結果の表示	・・・ 4
図 10	リセットボタン	・・・ 4
図 11	プルダウンメニュー	・・・ 5
図 12	登録情報ページ	・・・ 5
図 13	パスワード変更ページ (入力)	・・・ 6
図 14	パスワード変更ページ (更新)	・・・ 6
図 15	管理者用ページ	・・・ 7
図 16	データの確認とメールアドレスの表示	・・・ 7
図 17	メールアドレスの全文選択	・・・ 7
図 18	前後のページ移動のためのリンク	・・・ 8
図 19	一覧ページでの「課題」表示	・・・ 8
図 20	登録情報ページでの課題状況の表示	・・・ 8
図 21	図 20 の全部の課題が終わった時の表示	・・・ 8
図 22	一覧ページでページ番号を揃えて表示	・・・ 8
図 23	複数答えがある場合の表示	・・・ 9
図 24	ヒント増量	・・・ 9
図 25	「こちら」の移動先	・・・ 10
図 26	正解後の補足表示	・・・ 10
図 27	順番どおりでないと正解できない理由	・・・ 11
コード 1	header.php の呼び出し	・・・ 12
コード 2	check_login.php 【ID とパスワードの文字の置換】	

- ・・・ 12
- コード 3 `check_login.php` 【先生の ID を呼び出し変数に代入】
・・・ 12
- コード 4 `unix_header.php` 【管理者用ページへのリンク表示】
・・・ 12
- コード 5 前のページへのリンク表示 ・・・ 13
- コード 6 次のページへのリンク表示 ・・・ 13
- コード 7 別の解答でも正解にする ・・・ 14

図 1 デザインの枠組み (index.php)



図 2 ログインページ



図 3 ログアウト画面



図 4 ログイン後のヘッダー部分（先生用）



図 5 問題一覧ページ

問題一覧

1. データベースの作成
2. SQLファイルの作成
3. MySQLの操作
4. レコードの表示 **課題**
5. レコードの追加・更新・削除
6. 書籍データベースのPHP化 1（新規）
7. 書籍データベースのPHP化 2（確認）
8. 書籍データベースのPHP化 3（登録）
9. 書籍データベースのPHP化 4（一覧）
10. 書籍データベースのPHP化 5（詳細）
11. 書籍データベースのPHP化 6（編集）

図 6 不正に問題ページにアクセスした時



図 7 問題内容

ブログの作成 14 (編集 確認・更新)



▼下へ

1. (確認) 編集内容を確認する

間違いです。もう一度！
henshu.phpから送られてきたデータを受け取り、それぞれ変数に代入して内容を<table>で表示し確認します。空欄を埋めてください。

ヒント1：henshu.phpからは<form>で送られてきます。methodの属性は何だったでしょう？
ヒント2：本文は「\n」を「
」に置換しなければいけません

```
<table border="1">
<?php
    _____($_POST); ←送られてきたデータを受け取り「$name属性」に代入
    _____ = $id;
    print "<tr><th>タイトル</th><td>$title</td></tr>";
    print "<tr><th>本文</th><td>" . nl2br($honbun) . "</td></tr>";
?>
</table>
```

図 8 問題ページの背景画像

(課題ページ)

(復習ページ)



図 9 正誤結果の表示

1. 更新日時の取得

間違いです。もう一度！

プログラムでも更新日時の表示が必要な為、コンピュータ内の時間を取得して利用します。
以下の空欄を埋めてください。

<1. について>

現在のグリニッジ標準時が取得されるので、日本の時間に合わせなければいけません。

更に「1970年1月1日0時0分0秒」から経過した秒数で取得される為、「(解答) * 60秒 (分になおす) * 60 (時になおす)」を足します。

ヒント：イギリスとの時差は？

```
$hiduke = time() + (  * 3600 );
```

解答

リセット

図 10 リセットボタン

正誤結果のリセット

図 11 プルダウンメニュー



※ 文字色がグレーの項目が使用済み

図 12 登録情報ページ

登録情報	
ID	1048088un
名前	原田知佳
パスワード	パスワード変更

図 13 パスワード変更ページ（入力）

パスワード変更

現在のパスワード	
新しいパスワード	
新しいパスワード (確認)	

変更リセット

[戻る](#)

図 14 パスワード変更ページ（更新）

（現在のパスワードが違う）

（新しいパスワードが空欄）

パスワード変更

パスワード変更

現在のパスワードが違います。
入力し直してください。

新しいパスワードが空欄です。
入力し直してください。

[戻る](#)

[戻る](#)

（新しいパスワードが違う）

パスワード変更

新しいパスワードで違うものが入力されています。
入力し直してください。

[戻る](#)

図 15 管理者用ページ

管理

学籍番号	名前	最終ログイン日時	課題ページ	解答済み
1048088un	原田知佳	2014-01-08 01:48:29	45. ブログの作成 18(検索)	1, 2 <input type="checkbox"/>
1234567aa	ななしさん	2013-08-16 16:55:04	1. データベースの作成	なし <input checked="" type="checkbox"/>

図 16 データの確認とメールアドレスの表示

管理

学籍番号	名前	最終ログイン日時	課題ページ	解答済み
1048088un	原田知佳	2014-01-10 21:47:11	45. ブログの作成 18(検索)	1, 2
1234567aa	ななしさん	2013-08-16 16:55:04	1. データベースの作成	なし

1048088un@hi.otani.ac.jp, 1234567aa@hi.otani.ac.jp

図 17 メールアドレスの全文選択

1048088un@hi.otani.ac.jp, 1234567aa@hi.otani.ac.jp

図 18 前後のページ移動のためのリンク



図 19 一覧ページでの「課題」表示

- 14. 書籍データベースのPHP化 9(削除)
- 15. 書籍データベースのPHP化 10(検索) **課題**

図 20 登録情報ページでの課題状況の表示

課題ページ名	15. 書籍データベースのPHP化 10(検索)
解答済み問い番号	1, 3

図 21 図 20 の全部の課題が終わった時の表示

課題ページ名	完！お疲れ様でした。
解答済み問い番号	なし

図 22 一覧ページでページ番号を揃えて表示

- 9. 書籍データベースのPHP化 4(一覧)
- 10. 書籍データベースのPHP化 5(詳細)
- 11. 書籍データベースのPHP化 6(編集)

図 23 複数答えがある場合の表示

```
<form action=" " method="POST">
<input type=" " name=" " value="<?php echo(printでも可) ;?>">
<p><input type=" " onclick="kakunin(this)" value="削除"></p>
</form>
```

図 24 ヒント増量

コメントの一覧表示も<table>で行い、「名前」「記事タイトル」「コメント投稿時の日付」「削除ボタン」を繰り返し表示します。以下の条件を元に空欄を埋めてください。

- 一覧表示は日付が新しいものから順に(つまり降順)
- 投稿者名をクリックすると「shosai_kanri.php」のコメント表示の箇所に飛ぶようにします

ヒント1:sql文は「kijiテーブルとcommentテーブルから、kijiテーブルのidとcommentテーブルのkiji_idが一致するものを、commentテーブルのhidukeを降順で取り出す」です

ヒント2:リンクの\$_GETで送る時のname属性が分からなければ[こちら](#)(送信先)でどんなname属性の値で受け取っているか確認しましょう

※複数のテーブルのリレーションでのsql文は、電子書籍の教材の「MySQLについて — 2.データベースの作成 — (5)複数のテーブルのリレーション」に書いてあります

図 25 「こちら」の移動先

1. idを受け取りDBからレコードを取り出し、表示

index.phpから送られてきたid番号を受け取り、該当するレコードをDBから呼び出します。
空欄を埋めてください。

ヒント:index.phpからは文字リンクで来てます

※何故記事idを「\$kiji_id」に代入しているか忘れてしまった場合は[こちらの](#)※を見てください

```
<?php
    $kiji_id = _____ ["id"];
    $sql = " _____ * from kiji where id= _____ ";
    $data = mysql_query($sql);
    if ($record = mysql_fetch_array($data)) {
        _____ ($record);
        $nengappi = _____ ( 'Y/m/d H:i', $hiduke );
        print " <div>%n" .
            " <h2>$title</h2>%n" .
            " <p> _____ ($honbun)</p>%n" .
            " <p class='kiji_footer'>$nengappi | コメント(数字)</p>%n" .
            " </div>%n";
    } _____ {
        print "記事がありません。";
    }
?>
```

解答

リセット

図 26 正解後の補足表示

```
print " <form action='henshu_kakunin.php' method='POST'>";
print " <input type=' _____ ' name='id' value='$kiji_id'>";
※select文でDBから記事idを出しているので「$id」でも正解ですが、今まで記事idは「$kiji_id」に入れて使っ
ているので統一した方がいいでしょう
print " <table border='1'> "
```


コード 1 header.php の呼び出し

```
<header>
<?php
    require("header.php");
?>
</header>
```

コード 2 check_login.php 【ID とパスワードの文字の置換】

```
//学籍番号、パスワード（「'」が入っている可能性を考えて）
$ID = htmlspecialchars($ID, ENT_QUOTES);
$password = htmlspecialchars($password, ENT_QUOTES);
```

コード 3 check_login.php 【先生の ID を呼び出し変数に代入】

```
//先生の ID 呼び出し
$sql = "select gakuseki_num from member where mode=¥"sensei¥";
$data = mysql_query($sql);
while ($record = mysql_fetch_array($data)) {
    extract($record);
    $sensei_id = $gakuseki_num;
}
```

コード 4 unix_header.php 【管理者用ページへのリンク表示】

```
<?php
    if (isset($_SESSION["login"])) {
        if ($_SESSION["login"] == "sensei") {
            print "<a href='../kanri/kanri_index.php'>管理ページ</a>¥n";
        }
    }
?>
```

コード 5 前のページへのリンク表示

```
//back
if ($unix_num == 1){
    print "<span class='uchikeshi'>back</span>";
} else {
    $num = $unix_num - 1;
    $sql = "select url from mondai_menu where unix_num=$num";
    $data = mysql_query($sql);
    while ($record = mysql_fetch_array($data)) {
        extract($record);
        print "<a href='$url.php'>back</a>";
    }
}
```

コード 6 次のページへのリンク表示

```
$sql = "select unix_mondai from member where gakuseki_num='$gakuseki_num'";
$data = mysql_query($sql);
while ($record = mysql_fetch_array($data)) {
    extract($record);
    if ($unix_mondai > $unix_num) {
        $num = $unix_num + 1;
        $sql = "select url from mondai_menu where unix_num=$num";
        $data = mysql_query($sql);
        while ($record = mysql_fetch_array($data)) {
            extract($record);
            print "<a href='$url.php'>next</a>¥n";
        }
    } else {
        print "<span class='uchikeshi'>next</span>¥n";
    }
}
```

コード 7 別の解答でも正解にする

```
// 「print」でも正解にする
if ($mondai3[2] == "print"){
    $hantei3[2] = $kaito3[2];
}
```